





















経尿道的膀胱腫瘍切除術クリニカルパス

氏名 _____ 様

病日 日付	入院日	手術日	1病日	2病日	3病日(退院日)
観察	入院時・夕方検温します 	手術前・帰宅時・3時間後以降6時間毎に検温します 	1日2回検温します 		
	尿の量・尿の色をみます	☆手術後、以下のことを観察します☆ 下肢の感覚が戻っているか、尿の量(3時間毎)、イキミ症状 お尻の圧迫で赤くなってないか、排尿用の管がしっかり固定されているか・管の脇から尿が漏れないか、尿の量・色をみます	☆排尿用の管を抜去後以下の項目を観察します☆ 排尿間隔(何時間おきに尿がでているか) 残尿感(尿の残った感じ)		
安静	特に制限はありません 	手術後はベッドの上で安静になります 寝返りはうてますが、ベッドの横に降りたり起きあがったりはできません 	回診後は歩行してかまいませんが、排尿用の管からの出血の状態により制限されることもあります		
食事	普通食がでます  午前手術の方は夜9時以降飲食できません 午後手術の方は夜9時以降食事のみできません	午後手術の方は、朝8時まで水分がとれます 	普通食がでます  食事の制限は特にありません 1日1000mL以上の水分を飲むようにしましょう 		
清潔	入浴できます 		お湯で体を拭くことができます 	シャワーを浴びることができます 排尿用の管が抜けたら入浴ができます 	
排泄	尿はすべてトイレ内の袋へためてください	手術後は排尿用の管が入ります 排便はベッドの上になります	排尿用の管が抜けたらトイレ内の袋に尿をためてください 安静解除後は排便はトイレでできます		
診察		医師の回診が8時頃よりあります。ベッドで休んでお待ちください 			
処置	寝る前に下剤を飲みます 	手術前に浣腸をします	回診時排尿用の管を抜きます(1病日または2病日) 		
検査			朝 採血があります 		
薬物療法	今まで飲んでた薬は薬剤師に渡してください 	持参した薬は種類によって飲むものもあります 回診時に針を刺し、点滴を入れます  点滴は翌日まで持続で入ります 手術中と手術後に抗生剤の点滴を行います 手術後、腰に麻酔の管が入ってきます。そこから痛み止めの薬を入れます(1病日目まで) 痛みやイキミの症状があれば硬膜外カテーテルからの薬または坐薬を使用します	点滴が1日2本あります 		
説明	入院生活について説明します 手術について説明し、同意書のサインを確認します 排尿用の管について説明します 			退院後の生活について説明します	退院時に次回外来の予約券をお渡しします
指導	入院治療計画書をお渡しします				
目標	手術や入院中の予定がわかる	術後の安静が守れ、術後出血が増強しない		排尿パターンが安定し、退院後の生活がわかる	